

52 四郷地区

5世紀後半の代表的な円墳である宮山古墳をはじめ多くの古墳がみられますね。「埋蔵文化財センター」に行ったことはあるかな？そこで古墳についていろいろ調べてみましょう。



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!

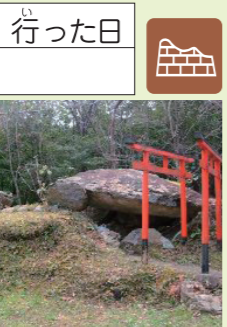


- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物、花
- 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

阿保古墳群

麻生山と仁寿山の間の谷にある、6世紀から7世紀にかけてつくられた横穴式石室を持つ古墳の集まりです。早くから何者かに掘りおこされ、内部の物を盗まれてしまいました。「飾磨郡誌」という本には、24～25基の古墳が残っていたと書かれています。「阿保の百穴(百塚)」ともいいます。



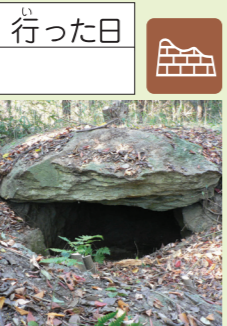
印鐸神社

印鐸神社は、八重鉾山の真ん中あたりの山麓におおみやま字宮山にあり、神功皇后、竹内宿禰、大己貴命の三つの神さまがまつられています。国司(昔の役人)の印をまつっていたという説もあります。



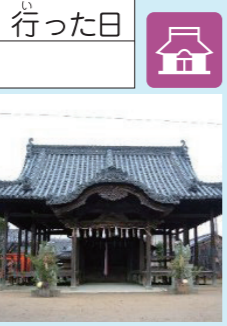
坂元山古墳群

宮山古墳西にある坂元山には、竪穴式石室を持つ6基の古墳があります。また、坂元山の南の山すそには、横穴式石室を持つ4基の古墳があります。



新羅神社

新羅神社は、明田村の神社で、息長足姫命、菅田別命、足仲彦命の三つの神さまがまつられています。現在の社殿は明治時代のもので、元禄時代の灯籠も残っています。



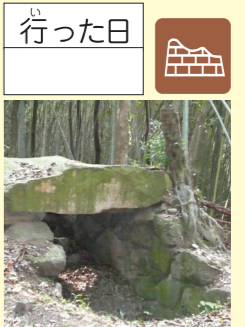
長塚古墳

平成7年(1995)に調査された、見野集落の東側の水田の中にある前方後円墳です。石室は、前が四角く、後ろが円くなっていて、どちらも東西を軸として、東に通路がある横穴式石室です。須恵器や銅鏡、管玉、ガラス玉などの身を飾る品物も発見されています。



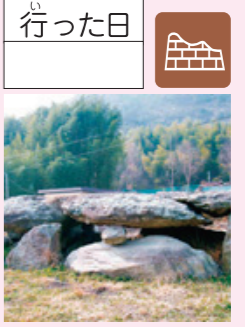
火山古墳群

見野から本郷の山すそにはたくさんの古墳があります。しかし、本郷北部の古墳は工場用地にするときに、残念ながら取り壊されてしまいました。



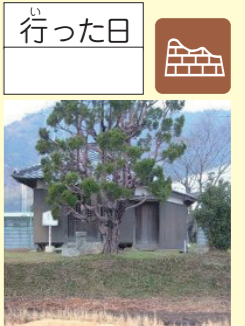
見野古墳群

見野と光公園のあたりに、古墳時代の後半につくられた横穴式石室を持つ20基の古墳があります。そのうち2基の古墳はたいへんめずらしいものです。1基は、一つの盛り土の中に二つの石室があり、もう1基は天井石が5mもある大きなもので、「姫路の石舞台」ともよばれています。



見野廃寺跡

四郷町見野字二階堂に薬師堂があります。白鳳期(飛鳥時代)には、この薬師堂を中心にお寺がありました。薬師堂の境内にはそのころの布目瓦が残っていて、お寺の跡だったことがわかります。また、塔の柱を支えるための穴を開けてある土台の石が発見されました。



宮山古墳

宮山古墳は、5世紀後半につくられた古墳で、直径約30m、竪穴式石室を持つ円墳です。昭和44年(1969)と昭和48年(1973)の2回の緊急発掘調査で、三つの埋葬施設が分かり、県の史跡に指定されています。平成17年(2005)には、姫路市埋蔵文化財センターが近くにオープンしました。



明治天皇駐蹕碑

明治36年(1903)、日本とロシアの関係が悪く、ロシアとの戦争が起こるかもしれないと考えて、陸軍の大訓練が播磨平野を中心に行われました。その時に、明治天皇が元取山で視察されたことを記念して建てられた石碑です。

